

## ○理化学課

食品衛生関係では、食品中の残留農薬、残留動物用医薬品、食品添加物及び陶磁器の規格試験等について、環境衛生関係では、水道水、井戸水、河川水及び家庭用品等について、廃棄物関係では、産業廃棄物、産業廃棄物処分場放流水等の行政検査を実施した。また、危機管理に関する検査、水道水質精度管理調査、温泉水の一般依頼検査及び調査研究等を行った。

平成20年度・21年度の概要は次のとおりである。

## 1 行政検査

## (1) 食品衛生関係

食品製造・加工技術等の高度化、輸入食品の増加に伴う食品の多様化及び流通の広域化・長期化等による食品による危害を防止するため、食品添加物、食品中の残留農薬・残留動物用医薬品について検査を行った。

平成18年度からのポジティブリスト制度導入に伴い、残留農薬の検査項目を増やし実態把握に努めている。

平成20年度・21年度の検査状況は表1のとおりであった。

表1

検査区分		平成20年度		平成21年度	
		検体数	延検査項目数	検体数	延検査項目数
残留農薬	農産品（防ばい剤を含む）	194	10,342	194	8,599
	国産米（カドミウムを含む）	6	318	6	282
残留動物用 医薬品	養殖魚	8	80	8	80
	牛乳	5	40	5	40
陶磁器規格試験（カドミウム、鉛）		15	30	15	30
苦情等	保存料	5	5	-	-
	漂白剤	2	4	-	-
	異物鑑定	2	2	-	-
	悪臭（A重油）	-	-	1	1
計		237	10,821	229	9,032

## (2) 環境衛生・廃棄物関係

環境衛生の確保及び公衆衛生の向上のため、水道原水、家庭用品の検査や産業廃棄物処分場放流水等の検査を行った。また、平成20年度・21年度は、漂着医療系廃棄物の重金属及び漂着ポリ容器内容物について検査を行った。

平成20年度・21年度の環境衛生及び廃棄物関係の検査状況は表2のとおりであった。

表2

検査区分		平成20年度		平成21年度	
		検体数	延検査項目数	検体数	延検査項目数
水道原水(地下水)	水質管理目標設定項目	6	672	6	684
水道原水(河川水)	農薬類	7	637	6	546
家庭用品	ホルムアルデヒド	7	7	6	6
産業廃棄物最終処分場モニタリング調査		40	1,322	43	1,368
苦情・その他	土壌,湧水等	9	193	9	14
	漂着医療系廃棄物	1	7	-	-
	漂着ポリ容器内容物	4	40	6	54
計		74	2,878	76	2,672

## 2 危機管理関係

健康危機発生時に速やかな対応ができるように、地方衛生研究所全国協議会九州支部が実施する「理化学部門健康危機管理模擬演習」に参加した。

平成20年度・21年度の危機管理関係の検査状況は表3のとおりであった。

表3

検査区分			平成20年度		平成21年度	
			検体数	延検査項目数	検体数	延検査項目数
カップ麺(防虫剤)			5	5	-	-
日本酒・焼酎(残留農薬、かび毒)			30	180	-	-
飲料、冷凍食品など(残留農薬、防かび剤)			13	873	-	-
公園の砂(残留農薬、除草剤)			4	120	-	-
スクリーニング	魚斃死(農薬)	河川水	-	-	4	2,464
		魚	-	-	1	616
定量	魚斃死(農薬)	河川水	-	-	4	4
		魚	-	-	1	1
清涼飲料による有症苦情(農薬、金属類)			-	-	3	1,980
理化学部門健康危機管理模擬演習			1	2	1	2
計			53	1,180	14	5,067

## 3 精度管理調査

### (1) 食品衛生関係

食品検査の信頼性を確保するため、内部精度管理(検査部門が自ら行う検査精度の確認)及び外部精度管理(外部の検査機関に委託して行う精度の確認)を行い検査技術の向上を図っています。

平成20年度・21年度の精度管理関係の検査状況は表4のとおりであった。

表4

検査区分		平成20年度		平成21年度	
		検体数	延検査項目数	検体数	延検査項目数
精度管理	GLP内部精度管理	42	2,289	45	5,494
	GLP外部精度管理調査	3	30	3	30
計		45	2,319	48	5,524

## （2）水道水質精度管理調査

水道事業者と水質検査機関による「佐賀県水道水質検査機関等連絡会」において、水質検査機関の技術向上・精度管理を図るため、水道水質精度管理調査を実施した。平成20年度はTOCと蒸発残留物について実施し、11機関が参加した。

また、厚生労働省が実施する「水道水質検査精度管理のための統一資料調査」に参加し、検査技術の向上に努めた。

## 4 調査研究

### 平成20年度

- ・ 飲用される湧水の残留農薬等実態調査
- ・ LC-TOF MSのプロファイリング解析手法を用いた健康被害原因物質の推定
- ・ LC-TOF MSによる国産農産物を指標とした外国産農産品の評価・検討
- ・ LC-TOF MSを用いた食品残留農薬分析のプロファイリング解析
- ・ LC-TOF MSを用いた農薬流出事故等における残留農薬のスクリーニング方法の検討

### 平成21年度

- ・ 茶葉の品質評価
- ・ フローインジェクション-LC-TOF MSを用いた魚毒性農薬の迅速スクリーニング